



暖かい日、寒い日を繰り返し少しずつ春の訪れを感じるようになってきました。

早いものでりす組で過ごすのも残り1カ月となり、子どもの成長を十分に認めて関わり、うさぎ組になることを楽しみにしながら過ごしていきたいと思っています。

発表会には、たくさんご参加して頂きありがとうございました。いつもと違う雰囲気になってしまわないかと心配していましたが、誰も泣くことなく楽しんで参加し、頑張る姿にとっても感動しました。

## 2月のりす組

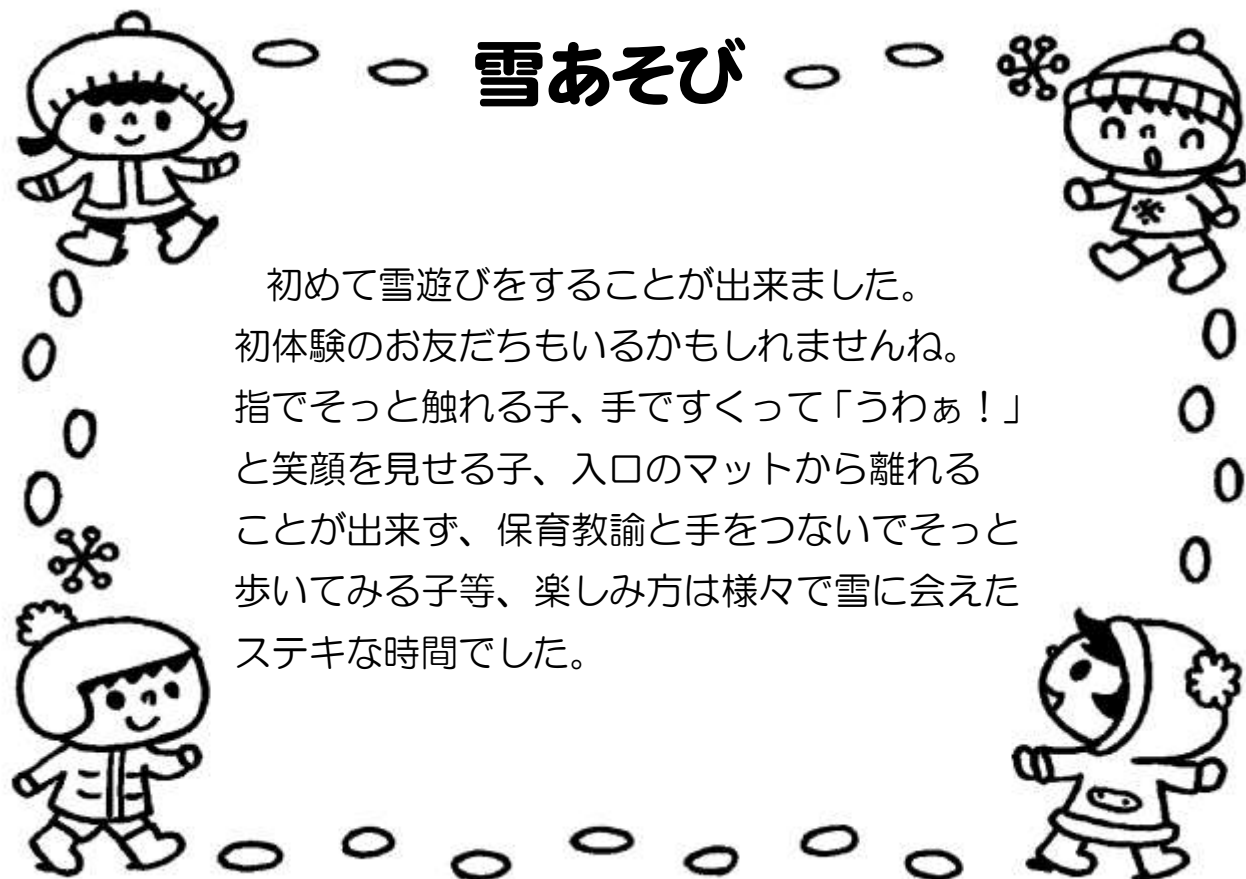


節分の行事には参加しませんでした。お兄さん、お姉さんたちが鬼に向かってたくさんの豆を「おにはそと」と何度も投げつけている姿を見て、部屋で”鬼の的当て”をすると、カラーボールをカいっぱい投げつけていました。保育教諭が的当てを持って追いかけると「きゃーっ」と逃げながらボールを投げつけるたくましいりす組でした。

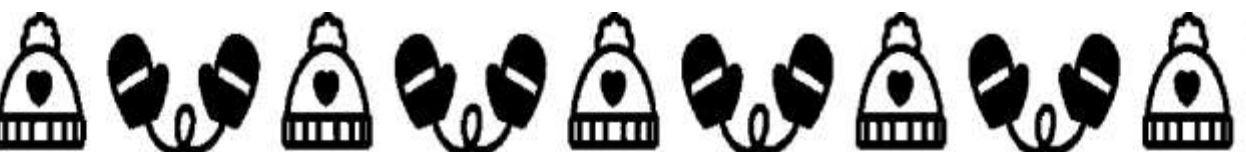
今でも保育教諭が作った簡単な”鬼のかぶりもの”をお友だちと順番にかぶり丸めた新聞紙を豆に見立てて「おにはそと～ふくはうち～」と投げて遊んでいます。ボールにするものが無いときは、掛け声をしながら投げる振りをして、鬼役は逃げています。



## 雪あそび



初めて雪遊びをすることが出来ました。初体験のお友だちもいるかもしれませんね。指でそっと触れる子、手ですくって「うわぁ！」と笑顔を見せる子、入口のマットから離れることが出来ず、保育教諭と手をつないでそっと歩いてみる子等、楽しみ方は様々で雪に会えたステキな時間でした。



パジャマに着替えるときや、帰りの用意をする時に、「〇〇やる！」と私たちの介助を断るのですが、全部1人で出来る段階ではないので上手くいかないことにイライラしている姿があります。そんな時は「お手伝いしようか？」と声をかけるようにしています。全てを大人がしてしまうのではなく、いずれ自分で出来るように、衣服の着脱や、靴の脱ぎ履きをしようとする姿には可能な限り時間を取り、一緒にやりながら手順を伝えています。

